

## 市民の作品がズラリ！

松浦市民文化祭（作品展示）が9月12日と13日の2日間、文化会館で開催され、期間中、約970人の来場者でにぎわいました。

会場では、書や絵画、写真、俳句、手芸など幅広い年代の市民の力作約520点を、幼児、小・中学生、高校・一般の3つのブースに分けて展示。

高校・一般の部では、来場者が好きな作品に投票を行い、宝亀秀臣さん（志佐・下高野）が亡くなった愛犬を描いた作品が最多得票を獲得しました。



▲宝亀さんの作品  
「JAZZ」

## おじいちゃんおばあちゃん、元気で過ごしてね！

今福保育園（椛島洋子園長）の園児103人が9月14日、地域の高齢者代表を園に招き、交流を行いました。

今回の行事は、新型コロナウイルス感染症の影響で、毎年開催していた世代間の交流行事などができなくなったため、同園が企画したものです。

この日は、今福町長寿会連合会の二村英喜会長、今福防犯母の会の寺澤フサ子会長の2人を招き、園児25人がマーチングを3曲披露し、似顔絵や花をプレゼントしました。



## 高齢者宅の警報器をチェック！

福島町が令和2年度住警器配布モデル事業実施地区に選ばれ、一般社団法人全国消防機器協会から火災警報器、消火器、防火エプロンなどの寄贈を受けました。同町の民生委員児童委員と消防署福島出張所は9月8日から、町内の独居世帯や高齢者夫婦の自宅を訪問し、火災警報器の点検や更新作業に取り組みました。

また、今回は高齢者宅の火災や逃げ遅れなどを未然に防ぐため、健康状態などの聞き取りも行いました。



## 友好記念植樹の碑を設置

北松浦青年会議所（山本祥平理事長）と松浦商工会議所青年部（松浦誠会長）は、今年春に道の駅「松浦海のふるさと館」構内で3本のカワヅザクラを植樹しました。9月29日には、植樹の隣に設置した記念碑をお披露目しました。

この取り組みは、両組織の友好関係の構築と、地域の活性化や発展につなげるための事業の第一歩として行われたものです。

山本理事長は、「笑顔と活気にあふれる街であり続けるよう、両会員で取り組みたい」と話していました。

▶植樹の様子



## 珈琲のおいしさに感謝

第2回<sup>コーヒー</sup>珈琲感謝祭が10月1日、今福神社で執り行われました。

このお祭りは、国際コーヒー機関が定める「国際珈琲の日」に合わせ、有志でつくる「コーヒーの日を祝う会」（森永一紀会長）が主催。今年は市内外の珈琲店や菓子店6店舗が珈琲豆を奉納し、日本でも欠かせない飲み物となった珈琲に感謝の意を表しました。

早田伸次宮司は「新型コロナ等で落ち着けない中でも、毎日おいしい珈琲を味わえることに感謝していきたい」と話していました。



## 表現豊かに英語でスピーチ！

第9回松浦・マッカイ ビル・モロイ杯 Englishスピーチ・コンテストが9月27日、文化会館で開催され、市内の中高生17人が出場しました。

このコンテストは、松浦市とマッカイ市の姉妹都市交流で、友好関係の構築に尽力したビル・モロイ氏の功績を称え、中高生の英語力の向上を目的に毎年開催しています。発表者は、自分の想いをスピーチに込めて、表現豊かに発表しました。各部門の最優秀者は次のとおりです。

【暗唱部門】大浦 悠河くん（志佐中）

【オリジナルスピーチ部門】中川 美結さん（松浦高）



## 市内各地を清掃

公益社団法人松浦市シルバー人材センター（村田政司理事長）は、10月の全国シルバー人材センター事業協会の普及啓発促進月間に合わせて、市内の8地区で奉仕活動を行いました。

同センターでは、社会への貢献と、センターの活動をPRするため、毎年、公共施設などの清掃活動に取り組んでいます。

福島地区では10月2日、会員24人が参加し、ふれあい広場の清掃や除草作業を行いました。



## 宇宙をテーマに科学を学ぶ！

文化会館は10月4日、宇宙をテーマに科学を学ぶ「コズミックカレッジ」を開催しました。

この日は、市内外から約100人の小中学生が参加。JAXA宇宙教育リーダーの川田政昭さんと清水清美さんを講師に、ロケットが飛ぶ仕組みや音が伝わる理論について学んだ後、手作りロケットを一人ずつ打ち上げました。

川田さんは「今日参加した人の中から、宇宙に関わる仕事をする人が出てきてくれるとうれしい。夢を諦めないで頑張してほしい」と話しました。

